

千人の森

シマフクロウ
保護の現場

シマフクロウ保護にご支援いただき

ありがとうございます。

シマフクロウ保護の取り組みのひとつ、Tシャツ「千人の森」を始めて今年で10年。シマフクロウの個体数は僅かに回復したものの、依然として、極めて絶滅の恐れが高い状態だ。東京の事務所働く職員が、現場で活動するレンジャーに、保護活動の現実を聞いた。

研修で北海道を訪れ、シマフクロウに出会えず悔しがる新人職員たちに、「カムイ(神様)だから、そう簡単には会えないよ」。そう話すのは松本潤慶(じゅんけい)チーフレンジャー。自然保護の最前線で活動する日本野鳥の会の職員を「レンジャー」と呼んでいる。松本は、現場経験16年のベテランレンジャーである。

シマフクロウの主食は魚。森に暮らすほかのフクロウの仲間がネズミや昆虫などを主食とする中、進化の中で彼らは魚を選んだ。「川に沿って約10km、川から100mほどの範囲の河畔林が、彼らの生活圏なんだ」。河畔林とは、河川の周辺に広がる森のこと。川と森のセットが、彼らの暮らす場所である。昔は魚であふれていた川。しかし、森林伐採や河川改修、砂防ダム設置により、魚が上流まで上がれなくなったという。「魚が獲れなくなると、栄養不足で繁殖の成功率が低下してしまうのは分かるよね。あともう一つ伝えておくと、魚を求めて下流に行こうとしたシマフクロウが、途中の道路で自動車にはねられ、命を落とす痛ましい事故も起きています」。森に給餌場を設け、いけすに魚を入れることは、繁殖に必要な食料を補うだけでなく、このような理由で命を落とすシマフクロウを減らすことにもつながっている。

いけすへの魚の補充は年に8〜10回程度。「給餌に依存してしまわないよう、周辺河川に生息する魚の数や、いけすの利用頻度を調査し、入れる魚の量や回数を調整している。野生動物への給餌は、本当にしっかりと考えないといけない」。北海道には、シマフクロウと同じ環境にヒグマが生息している。「いけすは採餌中のシマフクロウがキツネに襲われるのを防ぐため、2mの高さを持たせてある。でも、ヒグマが来ることもあり、軽々とよじ登っていけすを壊されてしまうこともある」。適切な給餌を行うためには、やるべきこと課題も多い。

魚を補充するところの写真を見せてもらった。雪景色の中その姿は、見ているだけでこちらが凍えそうになる。「氷点下での作業は大変だけど、弱音は吐いていられないからね」と笑う。いけすまでの山道、北海道では1m程の積雪は当たり前だが、地元の方が除雪をしてくれるという。いけすに入れる魚は、遠い道のりを養魚場の方に運んでもらっている。動物園等の餌とは違い、いけすに入れるのは生きた魚。運搬にも様々な気を遣うだろう。「関係者の方には本当に感謝している」。日本野鳥の会だけでなく、多くの力があった、はじめて給餌ができることがわかる。

「私たちの仕事は、寄付をしていただいた方々の想いを形にすること。だからご寄付いただいた方ひとりひとりがシマフクロウを守る一員だと思っています」。シマフクロウが暮らす森や川は、渾原や海とつながっている。いけすへの魚の補充や巣箱設置と同時に、植樹や河川環境改善に取り組むことは、連続しているこれらの環境を守り、そこに生息する多くの生き物を守ることにつながる。シマフクロウの保護は、単に絶滅危惧種を守るだけでなく、豊かな自然を未来に残すために必要な活動なのだと思えた。

かつて、アイヌの民に「コタン・コロカムイ(村の守り神)」と呼ばれていたシマフクロウ。神を守るなど恐れ多いかもしれないがその住処を奪ってしまった我々人間が、今度は彼らを守る番である。

日本野鳥の会のシマフクロウ保護活動は、ブログやFacebookでも紹介しております。是非ご覧ください。

ブログ
保護区バトロール日誌 検索

Facebook
日本野鳥の会シマフクロウ保護活動 検索

今年のTシャツ「千人の森」はP2、3をご覧ください。

電話でのご注文は 03-5436-2626 受付時間 平日・午前10:00~午後5:00 FAXでのご注文は 03-5436-2636 24時間受付

B 日本野鳥の会

BIRD SHOP

2020

通販カタログ バードショップ
2020 春夏号

P2~3 裏表紙 Tシャツ「千人の森」10周年



P6~7 里山の生物
多様性特集



P27 光学機器
コーワBDII
ポーチプレゼント
キャンペーン



ツバメ (撮影: 掛下 尚一郎)

B 日本野鳥の会 オリジナル このマークがついている商品は日本野鳥の会オリジナルのものです。

カタログ有効期限 **2020年4月1日~9月30日**

郵便でのご注文は9月30日消印有効。電話でのご注文は9月30日17時まで。インターネット、FAXでのご注文は、9月30日到着分までとさせていただきます。直営店「バードショップ」でもお買い求めいただけます。

お買い物で、自然保護。
日本野鳥の会は、野鳥やその生息地を守る活動に取り組む自然保護団体です。当会では、アウトドアに役立つグッズや本など、自然に関するさまざまな商品販売し、その収益を活動に役立てています。皆さんのお買い物も、自然を守る力になります。

商品によって違いがありますが、売上のおよそ10~15%を当会の活動資金として活用させていただいております。上記の比率は、売上から、商品の仕入れ費用、カタログ製作、発送、通信販売運営費にかかる人件費などを差し引いた割合です。



伐採跡地に地域産の広葉樹を植樹。

8年後…



2018年の様子。森が育つには長い年月がかかります。



いけすにヤマメを補充するレンジャー。



いけすに飛来し、魚を見ているシマフクロウ。

Tシャツを買ってシマフクロウ保護

にご支援をお願いいたします！

千人の森 今年で10年目

2020 を迎えました！

「千人の森」は、Tシャツ1枚につき250円のご寄付で取り組みです。絶滅危惧種を守るためには、長い年月と、多くの資金が必要です。さらに、専任ではありません。しかし、保護したいという気持ちがあってもそこで生まれたのがTシャツ「千人の森」。Tシャツをいただいたご寄付を当会が形にしていくことで、これまでの9年間に延べ6,000人を超える方保護に関わっていただくことができました。引き続きお願いします。

付を、シマフクロウ保護のために活用させていた様々な課題解決を必要とし、何十年、何百年とい専門家だけが行動すれば守れるということもありません。直接関われる機会は少ないのも事実です。Tシャツを通じてシマフクロウについて知っていただき、より多くの方に関わっていただく取り組みです。にご購入いただき、Tシャツを通じてシマフクロウを、皆様からのご支援賜りますようお願い申し上げます。

裏表紙に保護活動の現場レポートを掲載！是非ご覧ください。



2016年に設置した巣箱から、幼鳥が巣立ちました。巣箱入口には足跡がついています。

「千人の森」これまでの取り組み

年	ご寄付の活用先
2011・2012	伐採跡地への植樹
2013～2015	いけすへのヤマメ補充
2016・2017	巣箱の制作・設置
2018・2019	いけすへのヤマメ補充

千人の森

0001

袖口にシリアルナンバー付き

※番号はお選びいただけません。



ヤマメを捕らえ、倒木に乗るシマフクロウを描いていただきました。大きく開いた瞳孔は、暗闇で狩りをするシマフクロウならではの。

イラスト：箕輪義隆氏



モデル身長:156cm/ XSサイズ着用



モデル身長:170cm/ Mサイズ着用



モデル身長:157cm/ (婦人用)Mサイズ着用



シマフクロウが暮らすための健やかな水と森の大自然を、ヤマメと共にデザインしました。

イラスト：村上康成氏

(単位:cm)

男女兼用			
サイズ	着丈	身幅	袖丈
XS	57	42	15
S	63	47	18
M	68	52	22
L	72	55	22
XL	75	60	23
XXL	80	60	23

Tシャツ「千人の森」2020 **new!** **B** オリジナル

各¥3,220

Ⓐ グレー (男女兼用)

XS	商品番号 421321	L	商品番号 421324
S	商品番号 421322	XL	商品番号 421325
M	商品番号 421323	XXL	商品番号 421326

●素材:綿 ●ボディ:中国製 ●プリント:日本

Ⓑ ホワイト (男女兼用)

XS	商品番号 421161	L	商品番号 421164
S	商品番号 421162	XL	商品番号 421165
M	商品番号 421163	XXL	商品番号 421166

●素材:綿 ●ボディ:中国製 ●プリント:日本

Ⓒ ネイビー (婦人用)

M	商品番号 421327	L	商品番号 421328
---	-------------	---	-------------

●素材:綿、ポリエステル ●ボディ:中国製
●プリント:日本

(単位:cm)

レディース			
サイズ	着丈	身幅	袖丈
M	64	45	16
L	64	48	17

※婦人用は男女兼用より襟ぐりが広く袖が短い、薄手のTシャツです。

今年のご寄付もいけすに入れるヤマメの購入に活用いたします。

250円×1000枚=25万円集まると、天然の食べ物が少なくなる冬の6ヶ月、シマフクロウひとつがいとヒナ1羽に必要な魚約100kgを補うことができます。



1,000枚

シマフクロウひとつがいとヒナ1羽のエサ

ご購入者特典!

商品同梱チラシに掲載のリンクから、シマフクロウの動画を見ることができます。

※再生にはインターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンが必要です。
※動画は野鳥保護区内で調査のために撮影されたものです。